

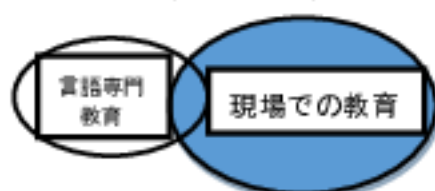
(新連載、ちょっと待てシリーズ 第3) **ちょっと待て!!**
【到達度試験参加者】は、4年連続 80%合格達成
「言語能力+実務能力+現場指導力」の協調が合格率の決め手!

【なぜ、「到達度試験参加者は、合格率が高いのか?」】

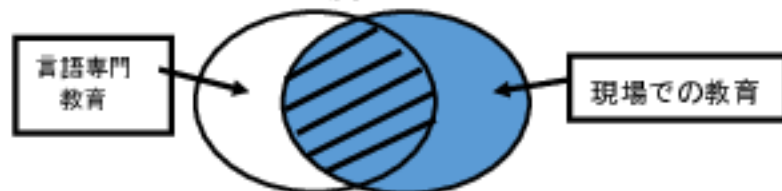
- ※ 下図のAとB図を比べれば、B図は言語教育と現場教育が受験者の「日本語習得度合」に合わせていることが分かる。現場では、「実務を通して専門知識習得」が行われ、言語教育では、実務能力を高めるための教育が行われる。
- ※ 合格率の高さの決め手は、言語指導と現場指導とが、【協調し合いながら進められること】にある。

- ※ 【到達度試験参加者】は、「3か年学習計画」に基づき、入職時から言語能力と実務能力を融合させる指導を常に、実行している。
- ※ その結果、受験者の「国家試験対応能力」が年ごとに高まるとともに、より高い専門知識の習得にも、意欲が増大した結果が、三年目の国家試験合格率を高めているのだ。

A図 「一般の融合場合」



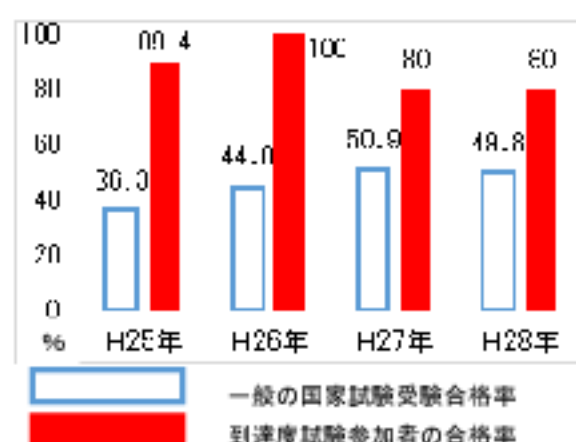
B図 「到達度試験参加者の融合割合」



I、【表1 合格率比較表について】

- 表1を分析すると、「一般の合格率」はH25年から28年の4年間平均が50%を下回り、45.45%となっていることが判読できる。それに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、4年間平均が87.4%にも達していることが特徴だ。
- この合格率の差が41.95%も、拡大していることを考えると、受け入れ機関の今後の「労働力確保」と「経営の安定性」を考えた場合には、国家試験合格率を上げることが、急務であることが分かる。
- 今後の経営には、外国人の協力がなくてはならない時期が間近に迫っていることを考えた時、国家試験合格率は、「絶対的な経営安定の目安」となることを再認識しなければならない時期になっている。

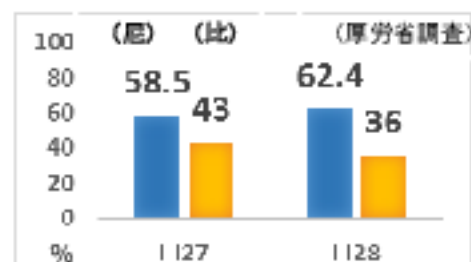
表1【一般と、到達度試験参加者の合格率比較】



II、【表2 国別の合格者比較表について】

- 表2を分析するとH27年と28年の傾向を見れば、インドネシア人が平均60.45%で、フィリピン人は39.5%であることが判読できる。しかし、両国の平均は49.975%であり、決して高い合格率でないことが分かる。これは、表1の4年間平均合格率45.45%と、大差がない数値だ。
- 表1の結果を見ると、インドネシア人の方がフィリピン人より、合格率が高いという印象を強く受ける人が多い。しかし、【到達度試験参加者】の国別合格率を分析すると、両国間には、大きな差が生じていないのが特徴だ。
- ことばの研究社では、入職時の言語能力調査(10分間テスト)を実施しているが、インドネシアとフィリピン人の言語能力には大きな差異はなく、ともに、非常に低い結果が調査に出ている。そのレベルは、驚くことに「日本人の4~5歳児レベル」に留まっているのが実態だ。

表2 【国別の合格者比較表】

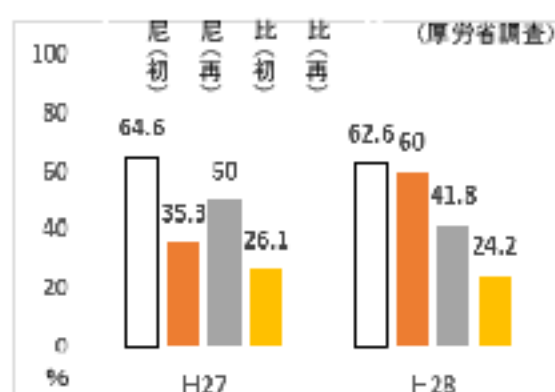


- 弊社の入職時の言語能力調査と、【到達度試験参加者】の国別合格率を考えると、以下のような結論となるので、ここにお伝えする。
- 言語教育に関しては、どの国の人であっても同じで、一定の言語能力が養われるものだ。即ち、全ては【教育指導の質と仕方】にある。

Ⅲ、【表3 現役合格率と、再受験者合格率の比較表について】

- 表3を見ると、現役合格率ではH27年と28年の2年間を見る限り、インドネシア人が60%以上に達している。それに対して、フィリピンの現役者はH27年では50%、28年では41.8%と低く、インドネシア人との差が、約20%開いている。しかし、再受験合格者の推移を見ると、インドネシアがH27年度で35.3%であったが、28年度では60%と、24.7%も増加していることが特徴的だ。反対に、フィリピンの再受験合格者率では、H27年より28年の方が1.9%減少していることが判明した。
- 表3を一見すると、インドネシア人の方がフィリピン人より合格率が高いことが分かる。その結果、受け入れ採用時にインドネシア人を希望する傾向が一部に出ている根拠ともなっていると考えられる。
- 【到達度試験参加者】の国別合格率から考えると、表3の一般の傾向とは異なり、両国の合格率は変わらないことが、毎回の国家試験から判明している。このことを考えると、国籍による合格率の判断は誤りであり、【教育の指導の仕方とその内容（質）のあり方】が、合格率を左右する要因だと断言できる。このことを直視し、労働力確保に結びつけるべきだ。

表3 【現役合格率と、再受験者合格率の比較】



- 最近では、ベトナム人候補者は全員がN3を取得しているため、合格率が高いと期待している受け入れ機関が多くある。
- その結果、受け入れ倍率は4~5倍だ。しかし、入職時の言語能力は他国とは変わらず、「日本人の4歳~5歳児レベル」に留まっているのが、本当の実態だ。

Ⅳ、【表4 6年間の受験者数と、合格者数の推移について】

- 表4は、H20年度から25年度の6年間の受験者数と合格者数の推移を集約したものだ。表4を見る限り、合格者数の割合は6年間でインドネシア人が60.43%、それに対してフィリピン人は47.8%に留まっている。
- しかしながら、その両者の差は12.63%にしか過ぎない。即ち表3では、インドネシア人の方が「合格率が高い」という印象を受ける。しかし、表4を分析する限り、その差は決して大きな差異になっていないことが、数値上で判明した。
- 6年間の推移を分析した結果、得られたことは、前述した通り、【どの国の人であっても同じで、一定の言語能力が養われるもの】ということであり、また、【言語教育指導と現場教育指導】の融合が、合格させる最も重要な要素だと言える。

表4 【H20年~H25年度の受験者数と、合格者数・その他受験者含む推移表】（厚労省調査）

	受験者数	合格者数	(%)
インドネシア	546人	330人	60.43
フィリピン	364人	174人	47.80
計	910人	504人	55.38

- 6年間の合格率は、両国合せて55.38%となっている。その内訳を解析すると、インドネシアの第2と6陣の合格率が、6年間平均合格率を下回っており、フィリピンでは、第1と3、5陣が下回っていることが判明した。

Ⅴ、【受け入れ機関の人財育成姿勢が、国家試験合格率に甚大な影響を及ぼす】

★ 人財育成型機関 <専門家との協調重視>

- 1、「3年間学習計画」に基づいて、言語教育と現場教育を組み合わせ、成果を出している。
- 2、「学習支援金」を正しく使用し、言語教育は専門家に依頼して、客観的な成果を上げている。
- 3、現場教育では、管理体制が整備され、常に厳しい対応と指導を行い、その効果を出している。
- 4、受験者を有能な労働者として扱い、一定の責任ある職務を与えて、労働意欲を向上させている。

★ 非人財育成型機関 <内部処理で協調なし>

- 1、表面的な「学習計画表」を持っているが、実態は計画に基づかず、放任の教育をしている。
- 2、「学習支援金」は、備品などの項目で他に流用して、受験者の学習支援に使用していない。
- 3、現場教育は、型通りの教育を行い、単純労働を中心に行わせて、労働意欲を削いでいる。
- 4、受験者を単純労働者として扱い、在日期間だけ使えば良い（使い捨て）の姿勢で経営している。

今からでも遅くない！！

- 受験者の言語能力を客観的に把握しよう。
- 言語能力の到達度が把握できなければ、正しい現場教育は、絶対できない。

無料で受けられる「10分間テスト」の評価を利用しよう！

<特徴>

- ① 受験者の真の言語能力の姿がよく分かる
- ② 字形判断から、性格や精神状態まで分かる
- ③ 実態把握できれば、必ず教育指導に役立つ

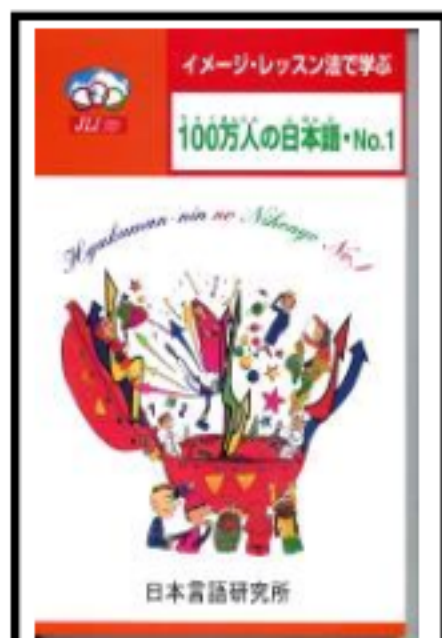
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

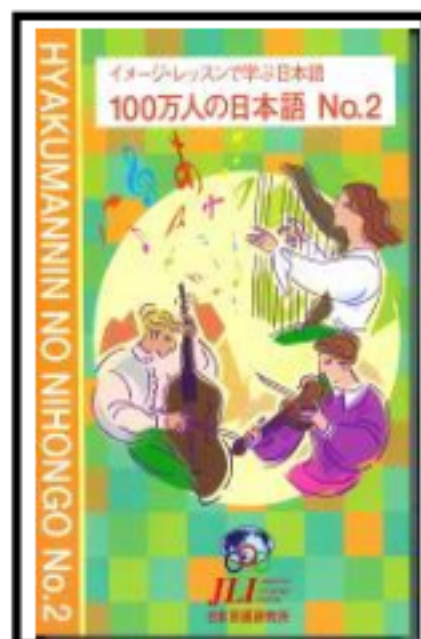
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

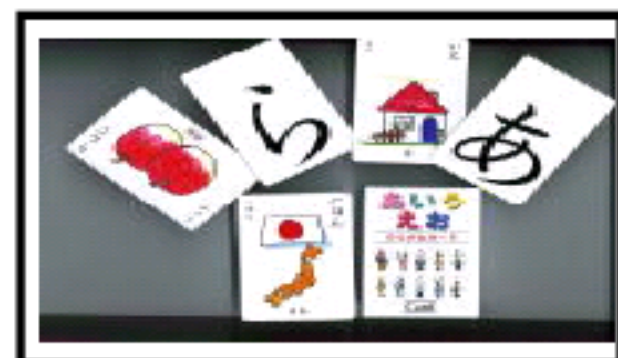
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

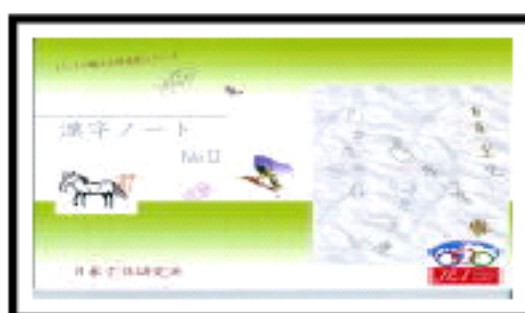
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が綴り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二 年 目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三 年 目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		